

平成26年9月の御嶽山噴火 概要

内閣府(防災担当)

被害の概要



 : 山荘・山小屋等
 : 避難小屋
 : 噴火箇所
 (ベリ映像より、複数)

【概要】

- 9月27日11時52分頃に噴火が発生
- 同日12時36分、噴火警戒レベルが1(平常)から3(入山規制)に引き上げ
- 28日17時には「非常災害対策本部」を、22時には内閣府大臣政務官を本部長とする「非常災害現地対策本部」を設置

【被害状況】(10月30日現在)

- 死者 57名
- 行方不明者 6名



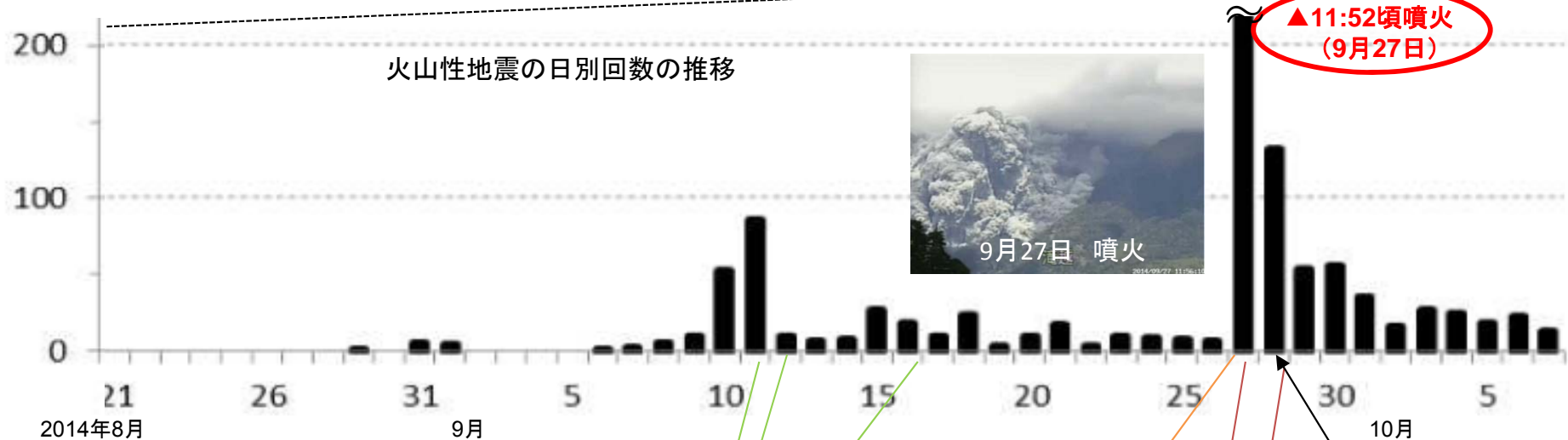
国土地理院
 平成26年9月29日撮影

噴火の様子(平成26年9月29日)

御嶽山の火山活動と火山防災情報



(気象庁「御嶽山の火山活動解説資料(平成26年9月)」等をもとに作成)



9月11日10:20火山の状況に関する解説情報(第1号)

10日昼頃から地震増加。微動なし。地殻変動変化なし。活動推移に注意。

9月12日16:00火山の状況に関する解説情報(第2号)

地震増加続報(11日は85回)。微動なし。噴煙・地殻変動変化なし。活動推移に注意。

9月16日16:00火山の状況に関する解説情報(第3号)

地震増加続報(12日以降やや多い状態)。微動なし。噴煙・地殻変動変化なし。活動推移に注意。

9月27日12:36火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)

噴火発生。今後も火口から4km程度に影響を及ぼす噴火が発生すると予想(噴石の飛散等に警戒)

9月28日19:30火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)

引き続き火口から4km程度の範囲で大きな噴石と火砕流に警戒。

9月27日12:00

噴火に関する火山観測報

↓
12:02航空路火山灰情報

13:35降灰予報(解説情報含め随時発表)

9月28日

火山噴火予知連絡会

拡大幹事会開催(活動評価結果公表)

9月28日～10月24日

・解説資料:毎日発表・解説情報:3時間毎発表

・降灰予報:9日まで6時間毎

10月25日～

・解説資料:週2回発表・解説情報:1日2回発表

政府の対応等

日	対応等	人的被害	搜索態勢
9月27日(土)	11:52頃噴火発生 12:36火口周辺警報(噴火警戒レベル1→3) 13:15岐阜県火山災害警戒本部設置 14:10長野県災害対策本部格上げ設置 14:31長野県知事:自衛隊に災害派遣要請 14:30総理指示 16:00国交省:道路降灰除去を行うTEC-FORCE班派遣 16:40関係省庁災害対策会議 19:00先遣チームを長野県庁に派遣 19:28関係省庁局長級会議 長野県木曾町・王滝村に災害救助法適用。気象庁:機動調査隊を派遣	負傷者9(うち埋没7)	
9月28日(日)	7:40搜索のため入山開始(→ヘリで26人救助・心肺停止4人を搬送) 12:50政府調査団派遣。国交省:土砂災害専門家を派遣 17:00政府非常災害対策本部設置 22:00長野県庁に政府現地対策本部設置 国交省:土砂災害防止法に基づく緊急調査に着手 気象庁:火山噴火予知連絡会拡大幹事会を開催	死者4・心肺停止27	約920人
9月29日(月)	6:10搜索のため入山開始(→心肺停止4人搬送) 14:00火山ガスのため搜索中止	死者12・心肺停止24	約1,360人
9月30日(火)	6:20搜索のため入山開始 7:05搜索中断(火山活動活発化)、12:15地上部隊の活動中止決定	死者12・心肺停止24	約1,460人
10月1日(水)	6:15搜索のため入山開始(ヘリで山頂まで部隊搬送、心肺停止35人を搬送) 林野庁:治山ダムの除石工事を実施	死者47	約1,490人
10月2日(木)	6:00搜索のため入山開始。11:35搜索活動中止(降雨) 国交省:砂防堰堤の設置開始	死者47	約1,400人
10月3日(金)	4:55搜索活動中止決定(悪天候) 10:30行方不明者16人公表 国交省:土石流シミュレーション結果公表	死者47・不明者16	約1,410人
10月9日(木)	9:10搜索活動中止決定(悪天候)	〃	約1,420人

政府の対応等

日	対応等	人的被害	捜索態勢
10月4日(土)	10:15捜索のため入山開始(→心肺停止4人搬送) 林野庁:監視カメラ、土石流センサーを関係省庁と連携して設置	死者48・心肺停止3・不明者16	約1,390人
10月5日(日)	5:04捜索活動中止決定(悪天候) 王滝村10世帯14名に避難勧告(6日解除)	死者51・不明者12	約1,390人
10月6日(月)	捜索活動中止(台風)	〃	約1,440人
10月7日(火)	ローラー作成実施(→心肺停止3人搬送)	死者54・不明者12	約1,380人
10月8日(水)	6:00捜索のため入山開始(→心肺停止1人搬送)	死者55・不明者9	約1,390人
10月9日(木)	9:10捜索活動中止決定(悪天候)	〃	約1,420人
10月10日(金)	6:00捜索のため入山開始 気象庁ホームページに火山登山者向け用法提供のページを新設 気象庁:火山噴火予知連絡会の下に検討会を設置する旨、報道発表 文部科学省:測地学分科会地震火山部会(第18回)を開催	死者55・不明者8	約1,525人
10月11日(土)	6:00捜索のため入山開始(→心肺停止1人搬送) 山谷大臣を団長とする政府調査団派遣	死者56・不明者8	約1,525人
10月12日(日)	6:00捜索のため入山開始	死者56・不明者7	約1,535人
10月13日(月)	捜索活動中止(台風) 木曾町26世帯71名、王滝村10世帯14名に避難勧告(14日解除)	〃	—
10月14日(火)	捜索活動中止(台風)	〃	—
10月15日(水)	11:00捜索活動中止(降雨予報、火山ガス)	〃	約1,890人
10月16日(木)	行方不明者家族が上空から捜索活動を視察 14:28捜索活動終了 長野県知事が大規模な捜索救助活動の終了に関して会見	〃	約1,920人
10月17日(金)	13:00非常災害現地対策本部廃止 文科省:科学研究費補助金(特別研究推進費)交付公表	〃	
10月20日(月)	中央防災会議防災対策実行会議において、 「火山防災対策推進ワーキンググループ」設置決定	〃	

平成26年(2014年)御嶽山噴火 非常災害対策本部 (内閣府(東京)に設置)

本部長: 山谷防災担当大臣

構成: 内閣官房、内閣府、警察庁、総務省、消防庁、厚労省、農水省、文科省、国交省、国土地理院、気象庁、海保庁、経産省、エネルギー省、中小企業庁、財務省、金融庁、消費者庁、防衛省、法務省、環境省、規制庁

平成26年(2014年)御嶽山噴火 非常災害**現地**対策本部 (長野県庁に設置)

本部長: 松本大臣政務官

構成: 内閣府、警察庁、消防庁、農水省、林野庁、国交省、国土地理院、気象庁、防衛省

- ◎国、県のトップレベルでの情報共有、調整
 - ・ 国・県合同会議
- ◎情報集約、提供
 - ・ 各省庁、岐阜県リエゾンによる情報収集
 - ・ 被災者情報の収集・集約
- ◎各省庁の速やかな対応
 - ・ 非常災害対策本部とのTV会議
- ◎分野ごとの活動支援
 - 救助・捜索
 - ・ 救助部隊の活動支援
 - ・ 活動基準策定(降雨、火山ガス)
 - ・ 火山活動監視(火山専門家との連絡)
 - 二次災害防止
 - ・ 居住地域への二次被害防止(台風、土石流)



現地本部のようす



国・県の合同会議



火山専門家との協力体制

○ 平成26年御嶽山噴火非常災害対策本部／現地対策本部への助言

- 火山噴火予知連絡会(会長)と相談のうえ、これまで御嶽山の観測を長年継続してきた名古屋大学の山岡教授に、火山活動に関する専門的な助言を依頼。
- 山岡教授は、現地における搜索・救助活動の実施可否を判断する際、火山活動に関する専門的助言を実施
(毎朝4:00～5:00に現地対策本部等から電話で状況を照会)
←助言にあたっては、一連の観測データを確認し、搜索・救助活動が可能かどうかという観点から助言。
- また、学識を有する政府の一員として、非常災害対策本部会議に毎回出席され、火山活動状況を報告



○ 火山噴火予知連絡会における活動評価

- 気象庁では、噴火翌日の9月28日に拡大幹事会、10月23日に定例の連絡会を開催し、委員が専門的見地から火山活動の評価を実施。(結果は、会議後に報道発表)
- このほか、気象庁と連絡会委員は必要に応じて連絡を取り合い、火山活動状況や今後の見通し等について議論。

○ 測地学分科会地震火山部会における議論

- 御嶽山噴火災害を踏まえて、部会委員が専門的知見から、御嶽山における観測研究及び体制の在り方を検討(→科学研究費補助金による研究も実施)するとともに、火山研究全体の方向性、体制整備、人材育成の在り方、減災・防災対策への貢献等について議論。